

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
家庭	生活と福祉	2	自由選択	講義・実習	20	-	○	○	○
学習目標	○高齢者の健康と生活、介護などに関する知識と技術を習得する。 ○高齢者の生活の質を高めるとともに、自立生活支援と福祉の充実に寄与する能力と態度を身に付ける。								
主な学習計画	1 年 間 の 学 習	○健康の概念、ライフステージと健康管理 ○介護保険制度 ○認知症・ユマニチュード ○地域包括支援センター ○高齢者の自立生活支援と介護 ○AED ○年金制度 ○講話・実習（福祉美容・衣類の着脱・車椅子・食事介助・生活支援・年賀カード作成・バイタルサイン・ロコモ予防・認知症サポーター講習・包帯法・生活設計・福祉の仕事・その他介護実習・看護実習・生活支援実習）							
教科書 副教材等	準教科書『生活と福祉』（実教出版）『生活と福祉 学習ノート』（実教出版）								
留意事項	○介護・看護実習は、体育着に着替え、数人のグループで行う。実習に伴う身体接触あり。 ○講師を招いての講義と実習を予定している。								
評価の方法	☒ 出席状況 ☒ 授業への取組 ☒ 課題等の提出 ☒ 定期考査 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件 セルフチェック	☐ 現在1年次以上である。 ☐ 「家庭基礎」を履修済み（または見込み）、もしくは同時に履修登録している。 ☐ 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『ヘルプマン』（くさか里樹） 『家族のためのユマニチュード』（イヴ・ジネスト ロゼット・マレスコッティ 本田美和子）								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
家庭	住生活デザイン	2	自由選択	講義・実習	20	-	○	○	○
学習目標	○生活と住居、住居の設計、インテリアデザインなどに関する知識と技術を習得する。 ○快適な住空間をデザインする能力と態度を身に付ける。								
主な学習 計画	1 年 間 の 学 習	○心地よい場所を見つける ○日本の住居の歴史 ○住宅情報の読み取り ○インテリアの基本ルール(レイアウトとコーディネート、色彩の基礎知識) ○私の理想の家(平面)の製作 ○収納計画 ○少子高齢化と住まい ○安心安全な住まい ○これからの住まいと生活 ○マイルームの立体模型製作 ○健康的な住まい(結露、シックハウス症候群、ダニ、カビ等) ○快適な住まい(暖房・掃除) ○世界の住居							
教科書 副教材等	準教科書『リビングデザイン』(実教出版)								
留意事項	○各自の課題に応じた実習の為、材料は各自購入、または自宅から持参する。 ○作品製作が好きなこと。								
評価の方法	☒ 出席状況		☒ 授業への取組		☒ 課題等の提出		☒ 定期考査		
以上の点を総合的に評価する。									
履修条件 セルフチェック	☐ 現在1年次以上である。 ☐ 「家庭基礎」を履修済み(または見込み)、もしくは同時に履修登録している。 ☐ 「リビングデザイン」を履修していない。 ☐ 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『人生を変える断捨離』(やましたひでこ)								

教科	科目名			単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
家庭	服飾文化			2	自由選択	講義・実習	20	-	○	○	○
学習目標	○衣服の起源、日本の服飾の変遷、西洋の服飾の変遷、洋服、和服、伝統文化と服飾などに関する知識と技術を習得する。 ○服飾文化を伝承し新たな服飾文化を創造できる力と実践的態度を身に付ける。										
主な学習計画	1 年 間 の 学 習	○服飾文化を学ぶ意義、衣服の起源 ○日本の服飾の移り変わり ○西洋の服飾の移り変わり ○被服製作の基本技術と被服や服飾品の製作 ○洋服、和服の種類と着装									
教科書 副教材等	7	実教	家庭710	『服飾文化』(実教出版)							
留意事項	○実習教材費(2,000 円)(別途事前納入) ○製作、実習を中心とした授業であるため、作品製作が好きであること。 ○課題(選択)の実習を行うため、実習教材費とは別に材料は各自で購入するか自宅から持参する。										
評価の方法	☒ 出席状況 ☒ 授業への取組 ☒ 課題等の提出 ☐ 定期考査 ☒ 小テスト 以上の点を総合的に評価する。										
履修条件 セルフチェック	☐ 現在1年次以上である。 ☐ 「家庭基礎」を履修済み(または見込み)、もしくは同時に履修登録している。 ☐ 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。										
オススメ図書	『COTTONFRIEND』(ブティック社) 『パタンナー金子俊雄のカジュアルなメンズ服』(金子俊雄)										

教科	科目名			単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
家庭	フードデザイン			2	自由選択	講義・実習	20	-	○	○	○
学習目標	○栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得する。 ○食事を総合的にデザインする能力と態度を身に付ける。										
主な学習 計画	1 年 間 の 学 習	○食生活と健康 ○栄養素のはたらきと食事計画 ○食品の特徴 ○調理実習（和食・洋食・中華の日常食） ○調理の基本 ○料理様式とテーブルコーディネート ○食育の意義と推進活動									
教科書 副教材等	7	実教	家庭703	『フードデザイン』（実教出版） 『フードデザイン学習ノート』（実教出版） 『ビジュアルクッキング』（教育図書）							
留意事項	○実習教材費（4,000 円）（別途事前納入） ○調理実習は、4名程度のグループで実施する。 ○エプロン、三角巾（大きめのハンカチ）、タオル、マスクを用意する。実習時長い髪は結び、爪は切る。										
評価の方法	☒ 出席状況 ☒ 授業への取組 ☒ 課題等の提出 ☒ 定期考査 ☒ 実技テスト 以上の点を総合的に評価する。										
履修条件 セルフチェック	☐ 現在1年次以上である。 ☐ 「家庭基礎」を履修済み（または見込み）である。（家庭基礎との同時履修は不可） ☐ 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。										
オススメ図書	『栄養と料理』（女子栄養大学出版部） 『図解でわかる 14 歳から知る食べ物と人類』（インフォビジュアル研究所）										

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
家庭	食文化と食品加工	2	自由選択	講義・実験・ 実習	20	-	○	○	○
学習目標	○調理科学、食品加工、食品衛生、郷土食などに関する知識と技術を習得する。 ○食事を総合的にデザインする能力と態度を身に付ける。								
主な学習 計画	1 年 間 の 学 習 ○調理の基本、食品の加工 ○食べ物のおいしさ(味覚、視覚など) ○食中毒予防 ○食品の安全性、食品添加物 ○日本と世界の食文化 ○加工食品 ○調理科学実験・実習 ○調べ学習 ○テーマ食材を使った料理を考える(自由献立)								
教科書 副教材等	本校作成ワークシート等								
留意事項	○実習教材費(4,000 円)(別途事前納入) ○調理実習は、個人または少人数(2、3名程度)のグループで実施する。 ○エプロン、三角巾(大きめのハンカチ)、タオル、マスクを用意する。 ○実習時は長い髪は結び、爪は短く切る。 ○フードデザインⅡの代替科目となるため、すでにフードデザインⅡを履修した生徒は登録できない。								
評価の方法	☒ 出席状況 ☒ 授業への取組 ☒ 課題等の提出 ☒ 定期考査 ☒ 実技テスト 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件 セルフチェック	☐ 現在1年次以上である。 ☐ 「家庭基礎」を履修済み(または見込み)である。(家庭基礎との同時履修は不可) ☐ 「フードデザインⅡ」を履修していない。 ☐ 履修の条件と留意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『食』の未来でなにがおきているのか～「フードテック」のすごい世界(青春新書 INTELLIGENCE635)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
家庭	日本の伝統・文化	2	自由選択	講義・実習	20	-	○	○	○
学習目標	○日本の伝統や文化について講義と体験を通して理解を深める。 ○他国の伝統や文化を尊重するとともに、国際社会に生きる中でお互いに文化交流できるように目指す。								
主な学習 計画	1 年 間 の 学 習 ○オリエンテーション ○和紙、折形 ○和装と浴衣の着付け ○和の作法 ○茶道 ○歳時記(七夕) ○和菓子 ○歳時記(正月) ○手紙のマナー ○風呂敷 ○歳時記(節分) ○まとめ								
教科書 副教材等	本校作成ワークシート および 『最新版 楽しく学べるマナーの基本』(教育図書)								
留意事項	○実習教材費(2,000 円)(別途事前納入) ○講師を招いての講義と実習を予定している。								
評価の方法	☒ 出席状況 ☒ 授業への取組 ☒ 課題等の提出 ☐ 定期考査 ☒ 小テスト 以上の点を総合的に評価する。								
履修条件 セルフチェック	☐ 現在1年次以上である。 ☐ 「家庭基礎」を履修済み(または見込み)、もしくは同時に履修登録している。 ☐ 履修の条件と意事項をよく読み理解した。								
オススメ図書	『四季を楽しむ、にっぽんの暮らし イラストで見る、歳時記入門』(宝島社)								

教科	科目名	単位数	履修の種類	授業形態	定員	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
家庭	茶道	2	自由選択	講義・実習	15	-	○	○	○
学習目標	○茶道から日本の文化、伝統、歴史への理解を深める。 ○茶道の講義と実習を通して、人や物に対して気配りができる感性豊かな人間形成を目指す。								
主な学習 計画	1 年 間 の 学 習	○茶道の歴史、道具、年中行事について ○和室の所作(襖の開け閉め、おじぎの仕方) ○割り稽古 ○茶席の準備と片づけ ○薄茶平点前 ○客の作法 ○茶会の主催、運営							
教科書 副教材等	本校作成のワークシート および『学校茶道 初級編』(今日庵)								
留意事項	○実習教材費(10,000 円)(別途事前納入) ○市民講師を招いて、講義と実習を予定している。 ○白い靴下と手拭き用のハンカチを毎授業用意する。 ○長い髪は結ぶ。 ○実習時に和菓子、抹茶の飲食あり。 ○本授業では裏千家流で学習する。 ○作法は右利き用のみ、左利きの生徒は利き手でない手で細かな動作を行う。								
評価の方法	☒ 出席状況 ☒ 授業への取組 ☒ 課題等の提出 ☐ 定期考査 ☒ 実技テスト 								